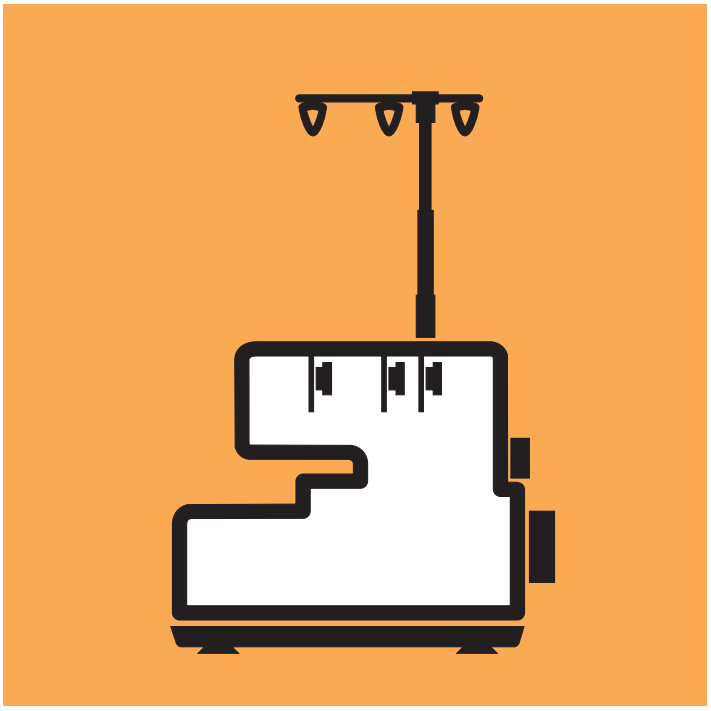
使用の手びき

型式：S-300DF



SINGER®

このミシンを安全にお使いいただくため、この「使用の手びき」をご使用の前に必ずお読みください。「使用の手びき」は手元に保管し、末長くご活用ください。

このたびは、シンガーミシンをお買い上げいただき、ありがとうございます。
このミシンは、地ぬいをしながら丈夫できれいな縁かがりぬいができ、ローン、トリコットなどの薄ものから、木綿、ジャージー、デニムなどの厚ものまで、あらゆる布地にすぐれた機能を発揮いたします。
また、差動送り付きですので、伸縮性のある布地もきれいに仕上げることができます。
このミシンの特長をご理解していただき、正しくお使いいただくために、まずこの「使用の手びき」をよくお読みください。
「使用の手びき」は、保証書と共に大切に保管してください。

安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことがらを必ず守ってください。
このミシンは、日本国内向け、家庭用です。　FOR USE IN JAPAN ONLY.

⚠ 警告　感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 以下のようなときは、電源プラグを引き抜いてください。
   ・ミシンのそばを離れるとき。
   ・ミシンを使用したあと。
   ・ミシン使用中に停電したとき。

⚠ 注意　感電、火災、けがなどの原因となります。

1. フットコントローラーの上に物をのせないでください。
2. お客さま自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンの操作中は、フロントカバー、フリーアームカバーなどのカバー類は、必ず閉じてください。
4. ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、ルーパー、メス、はずみ車、天びんなどすべての動いている部分に手を近づけないでください。
5. 曲がった針はご使用にならないでください。
6. 縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
7. お子さまがご使用になるときや、お子さまの近くで使用されるときは、特に安全に注意してください。
8. 以下のことをするときは、電源プラグを引き抜いてください。
   ・針、針板、押え、アタッチメント、メスを交換するとき。
   ・ランプを交換するとき。（ランプが冷えてから行ってください。）
   ・「使用の手びき」に記載のあるミシンのお手入れを行うとき。
   ・原則として針糸、ルーパー糸を交換するとき。
9. ミシン、フットコントローラーに以下の異常があるときは、速やかに使用を停止し、ご購入店、または別掲の「お客様相談係」にご連絡の上、点検、修理、調整をお受けください。
   ・正常に作動しないとき。
   ・落下などにより破損したとき。
   ・水に濡れたとき。
   ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
   ・異常な臭い、音がするとき。
10. ミシンは安定した平らなテーブルや机の上でご使用ください。

シンガーは、皆様に常に最新の裁縫性能を提供するために、必要に応じてこのミシンの外観、デザインまたは、付属品を変更することがあります。

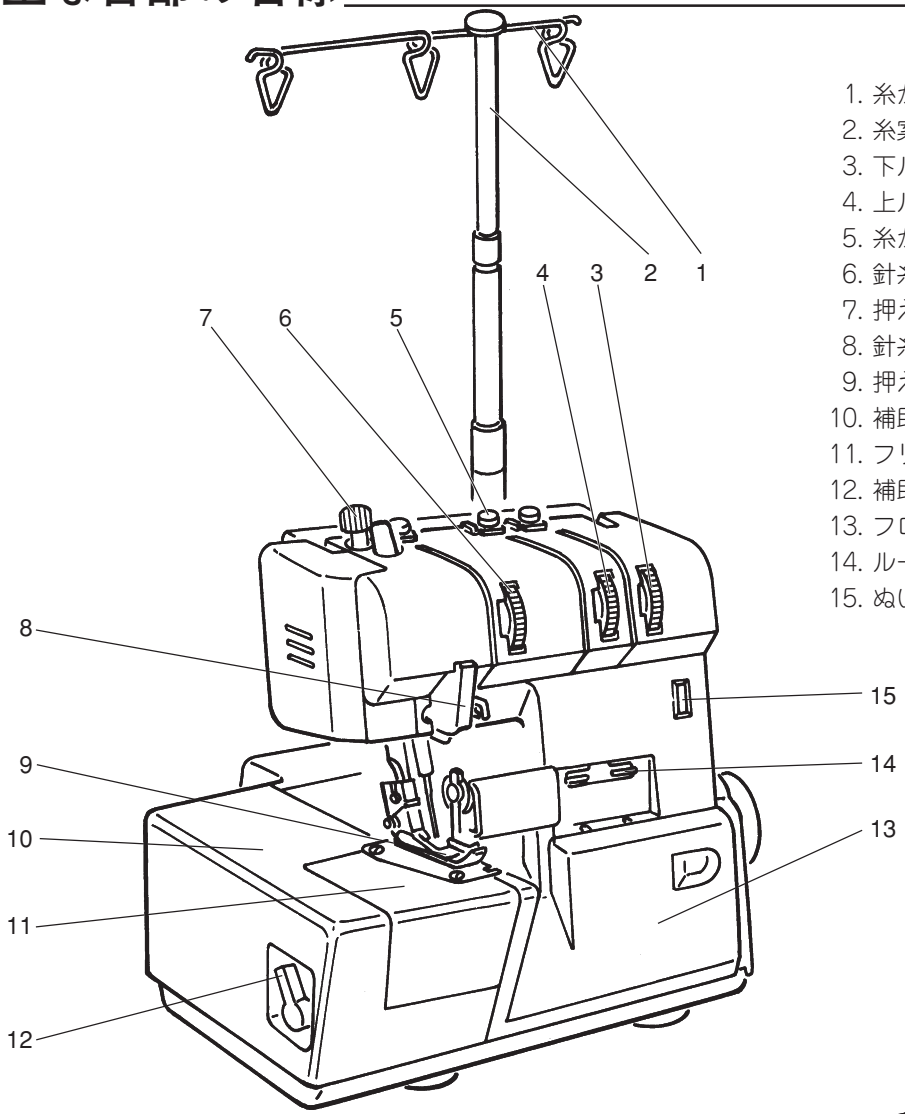
目次

安全にご使用いただくために ..... 表紙裏
ミシンの仕様 1
主な各部の名称 2
フロントカバーの開け方 3
フリーアームカバーの扱い方 3
ミシンの動かし方 4
付属品の内容と名称 4
布地と糸と針の関係表 5
針の取りかえ方 5
糸のかけ方 6
　糸案内棒のセット 6
　上ルーパー糸のかけ方 7
　下ルーパー糸のかけ方 8
　針糸のかけ方 9
　簡単な糸の取りかえ方 9
ためしぬい 10
　ぬい始め 10
　ぬい終わり 10
　ぬいの途中で糸が切れたら 10
オーバーロックぬい 11
糸調子のとり方 11
ぬい目長さの調節 12
差動送り 12
かがり幅の調節 13
押え圧力の調節 13
巻きロックぬい 14
　針板の取りかえ方 14
標準巻きロックぬい 15
　ぬい方 15
　糸調子のとり方 15
変形巻きロックぬい 16
　糸調子のとり方 16
ぬい方向をかえるには 17
　外角ぬい 17
　内角ぬい 17
　カーブぬい 17
フリーアームソーイング 18
装飾ぬい 18
ミシンのお手入れ 19
　掃除 19
　注油 19
　ランプの取りかえ方 20
　下メスの取りかえ方 20
サービスをお申しつけになる前に 21
修理サービス要領 ..... 裏表紙
お問い合わせまたはご相談先
（純正部品の購入方法） ..... 裏表紙

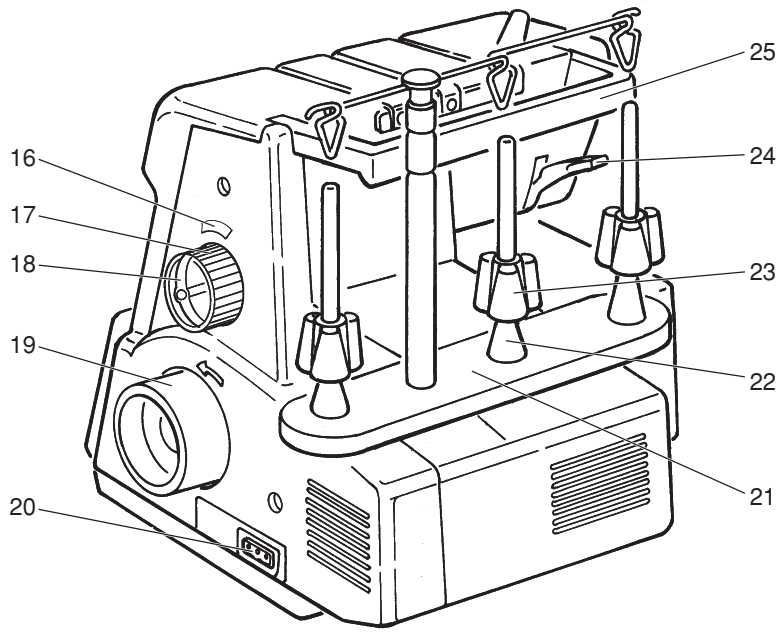
ミシンの仕様

ぬい目長さ（送り量）	1 - 4 mm
差動比	0.7 - 2.0
かがり幅	3.5 - 5.0 mm
針棒ストローク	27 mm
押え	ヒンジ式
押え上り量	5 mm
使用針	ＨＡ×１ 11番, 14番
使用糸数	3 本
大きさ	幅: 300 mm x 奥行: 230 mm x 高さ 290 mm
重さ	6.7 kg

主な各部の名称



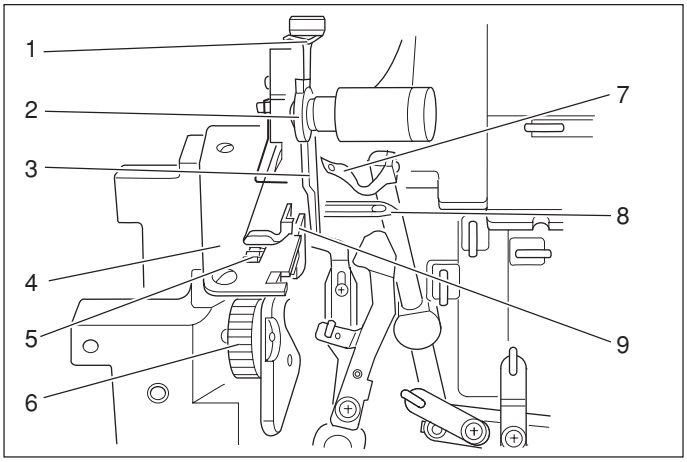
1. 糸かけ棒
2. 糸案内棒
3. 下ルーパー糸調子ダイヤル(青)
4. 上ルーパー糸調子ダイヤル(緑)
5. 糸かけ
6. 針糸調子ダイヤル(黄)
7. 押え圧力調節ネジ
8. 針糸天秤
9. 押え
10. 補助テーブル
11. フリーアームカバー
12. 補助テーブル開閉レバー
13. フロントカバー
14. ルーパー糸かけ
15. ぬい目長さ表示窓



16. 差動送り表示窓
17. ぬい目長さ調節ダイヤル（外側）
18. 差動送り調節ダイヤル（内側）
19. ハズミ車
20. ターミナルボックス
21. 糸立て台
22. 糸立て棒
23. 糸巻き受け
24. 押え上げ
25. ハンドル

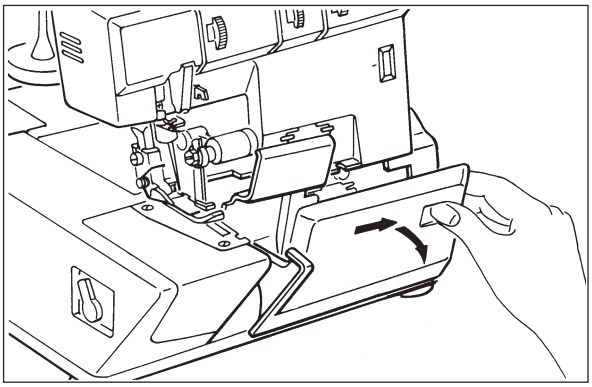
フロントカバーとフリーアームカバーを開けたところ

1. 針棒糸かけ
2. 上メスホルダー
3. 上メス
4. 針板
5. 送り歯
6. かがり幅調節ツマミ
7. 上ルーパー
8. 下ルーパー
9. 下メス



フロントカバーの開け方

1. フロントカバーのくぼみに指をかけ、右へいっぱいに寄せます。
2. そのまま手前に倒します。

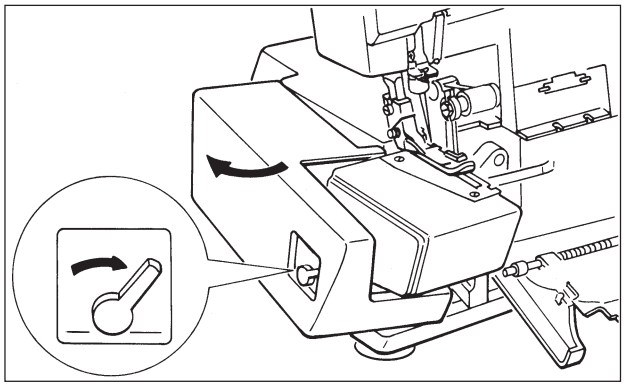


閉じ方

フロントカバーをそのまま起こせば、自然に閉じます。

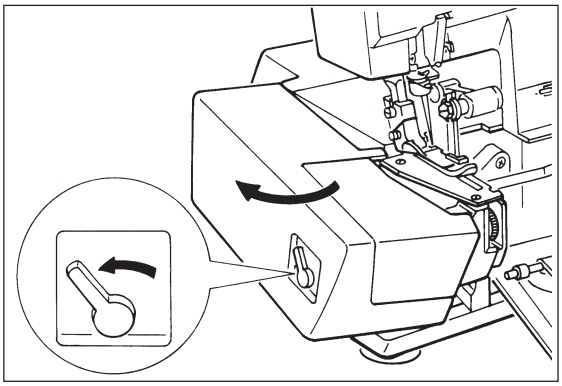
> **注意：ケガ防止のために；**
> ぬうときはいつも、フロントカバーを閉じておいてください。

フリーアームカバーの扱い方



フリーアームにするには

1. 補助テーブル開閉レバーを手前に倒します。
2. 補助テーブルを左に開けますと、筒ぬいのできるフリーアームになります。
3. 補助テーブルを閉じたときは、レバーを後ろに倒してください。



フリーアームカバーを開けるには

補助テーブル開閉レバーを後ろに倒したまま、補助テーブルをやや強めに開けますと、フリーアームカバーは、補助テーブルと一緒に開いてきます。

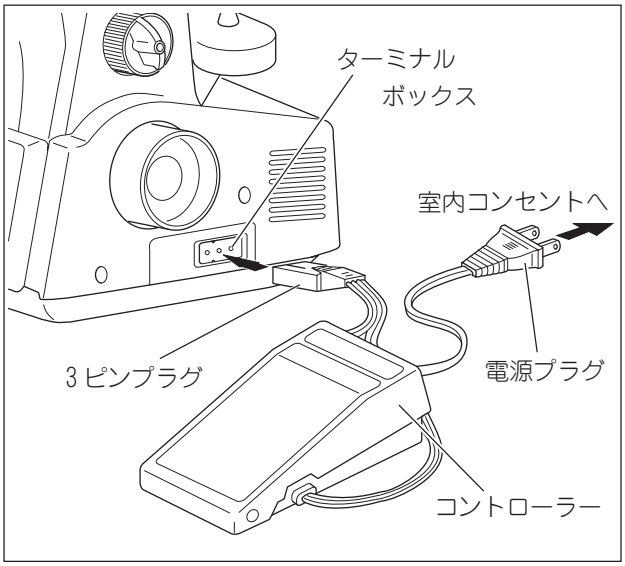
ミシンの動かし方

電源のつなぎかた

1. 3ピンプラグをミシンのターミナルボックスへ差し込みます。
2. 電源プラグを室内コンセントへ差し込みます。
3. 電源が入るとランプがつき、コントローラーを踏めば、ミシンは動き出します。

コントローラーの扱い方

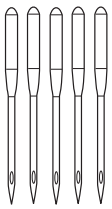
- コントローラーを強く（深く）踏むほど、ミシンの速度は速くなります。弱く（浅く）踏めば、遅くなります。
- コントローラーから足を離せば、ミシンは止まります。
- 踏み加減の調節しやすいところに、コントローラーを置いてください。



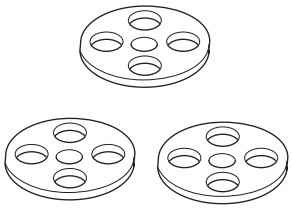
警告：事故防止のために；

- ミシンをお使いにならないときや、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- コントローラーの上にものを乗せないでください。
- コントローラーやミシン後方にある通風孔をふさがないでください。

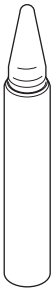
付属品の内容と名称



針
HA×1
11番　2本
14番　3本

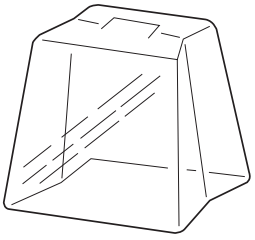


糸コマキャップ



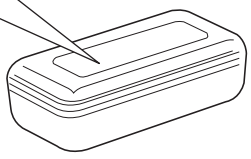
油差し

ブラシ



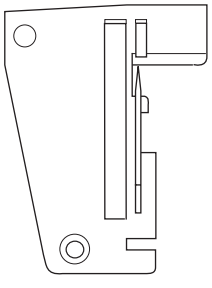
ミシンカバー

付属品箱

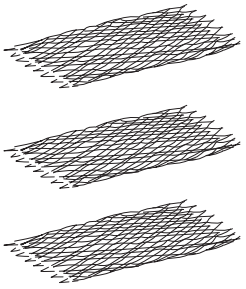


下メス

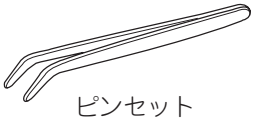
ドライバー



巻きロック用針板



糸巻きネット



ピンセット

布地と糸と針の関係表

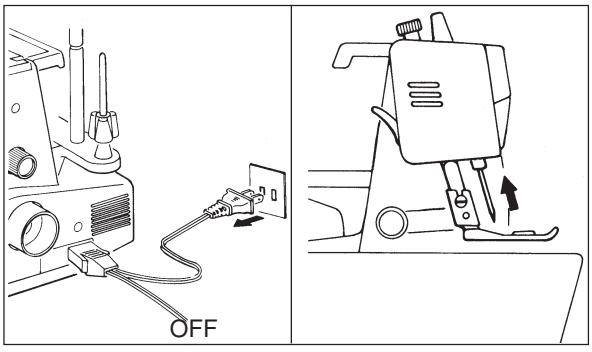
糸と針は、おぬいになる布地の種類や厚さに応じて選びます。
下の表を参考にして、適切な糸と針をお選びください。針は、家庭用ミシン針ＨＡ×１をお使いください。

布地		糸	針
薄地： オーガンジー、ボイル、 タフタ、ローン、 クレープ　等		綿糸　＃100 絹糸　＃100 スパン糸　＃80 - 90 テトロン糸　＃90	＃11
普通地： ギンガム、サテン、サッカー、 リンネル、ベルベット、 ギャバジン、ブロード　等		綿糸　＃60 - 80 絹糸　＃50 スパン糸　＃60 - 90 テトロン糸　＃60 - 80	＃11、14
厚地： デニム、ツイード、 コーデュロイ、 パイル布　等		綿糸　＃40 - 60 絹糸　＃40 - 50 スパン糸　＃60 - 90 テトロン糸　＃50 - 60	＃14
ニット地	トリコット	スパン糸　＃60 - 80 テトロン糸　＃60 - 80	＃11
	ジャージィー	スパン糸　＃60 - 80 テトロン糸　＃60	＃11、14
	ウール	スパン糸　＃60 - 80 テトロン糸　＃50 - 60 ウーリーナイロン ウーリーテトロン	＃14

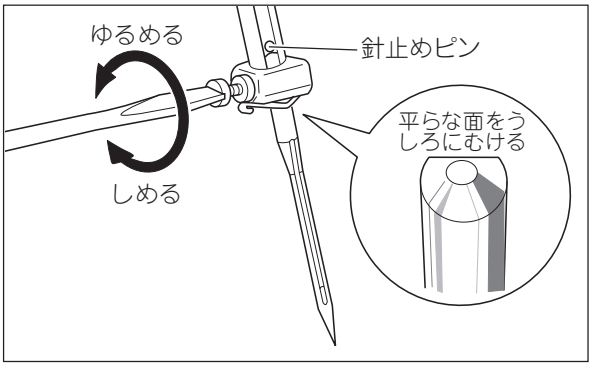
針の取りかえ方

上の表を参考にして、適切な針と取りかえてください。また、曲がったり、先がつぶれている針では良いぬい目になりません。新しい針と取りかえてください。

注意：ケガ防止のために；
必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。



1. 電源プラグを抜きます。
2. ハズミ車を手前に回して、針をいちばん上まで上げます。



3. 針止めネジを付属のドライバーでゆるめて、針をはずします。
4. 針の柄の平らな面を後ろに向けて持ち、針棒の溝に下から差し込みます。
5. 針が針止めピンに完全に突き当たるまで差し込み、針止めネジをしっかりしめます。

糸のかけ方

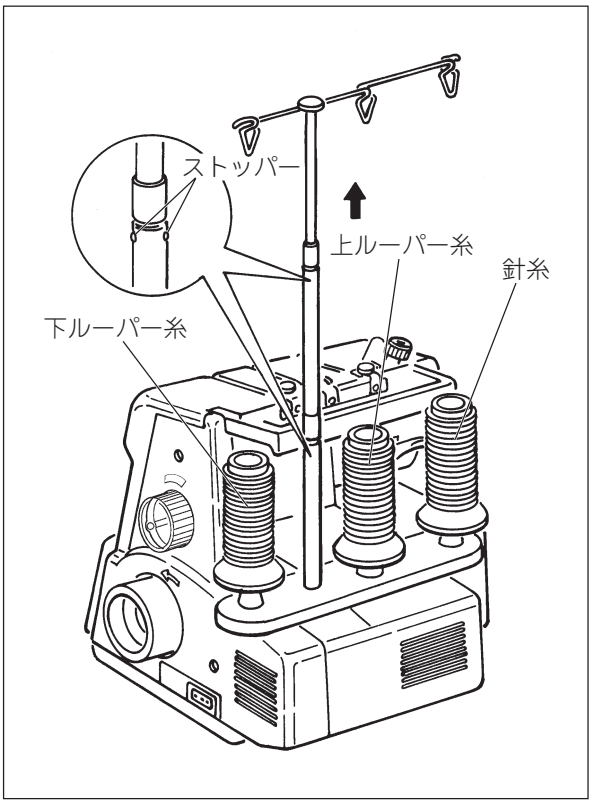
このミシンには、あらかじめ糸が通してあります。
糸のかけ方をまちがえますと、ぬい目が乱れたり、糸が切れたりすることがありますので、正しく糸をかけてください。
なお、フロントカバーを開けると、糸かけ案内図が、また、各糸かけ部には、色表示がしてありますので、参考にしてください。

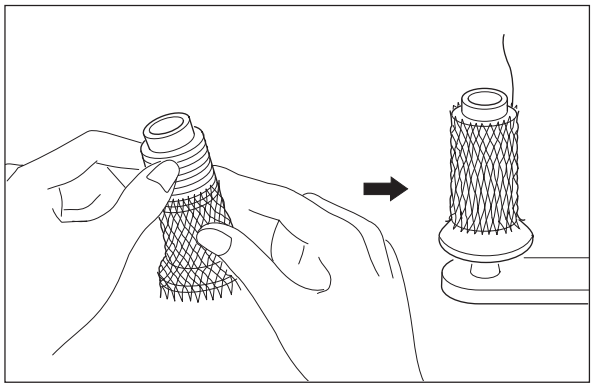
糸は、上ルーパー糸、下ルーパー糸、針糸の順にかけていきます。

糸案内棒のセット

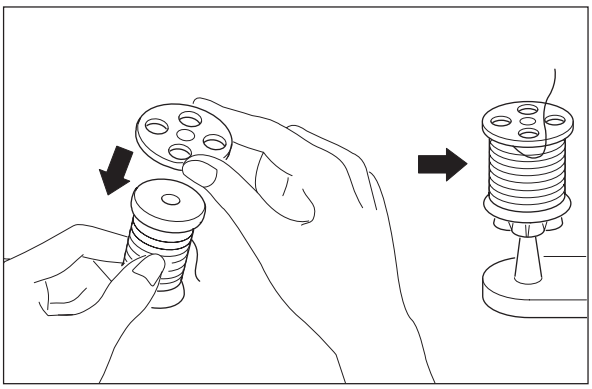
1. 糸案内棒をいちばん上まで伸ばします。
2. 糸かけが、糸立て棒の真上にくるように、位置決めストッパーでセットします。

巻き糸は、糸立て棒に差し込み、糸立て台に固定します。（糸はロック用巻き糸のご使用をおすすめします。）





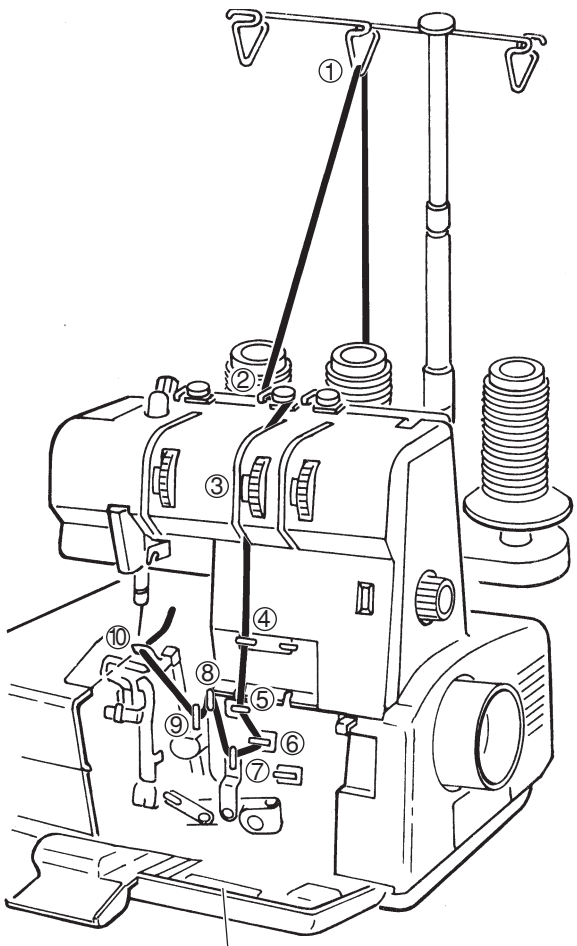
巻きのくずれやすい化繊糸などをお使いのときは、付属の糸巻きネットを下からかぶせてください。



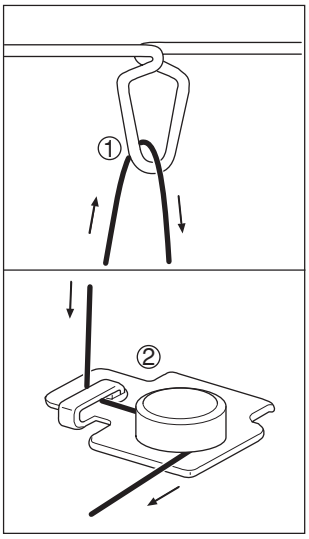
家庭用の糸コマをお使いのときは、付属の糸コマキャップを、糸コマの穴に取り付けてから、糸立て棒に差し込みます。

上ルーパー糸のかけ方

フロントカバーを開け、上ルーパー糸を下図１～10の順番でかけていきます。上ルーパー糸の各糸かけ部には、緑色のマークがついています。

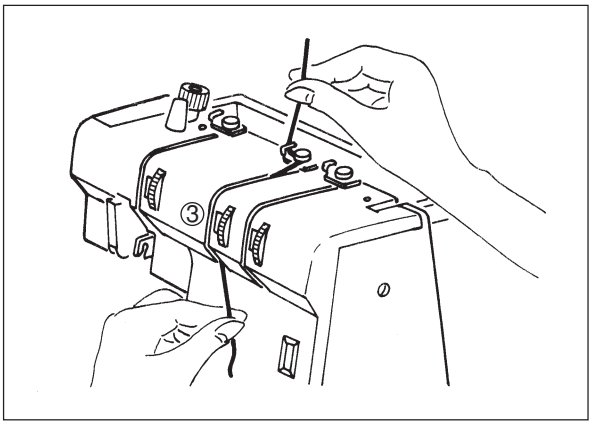


糸かけ案内図



1. 糸かけに糸を後ろから前にかけます。

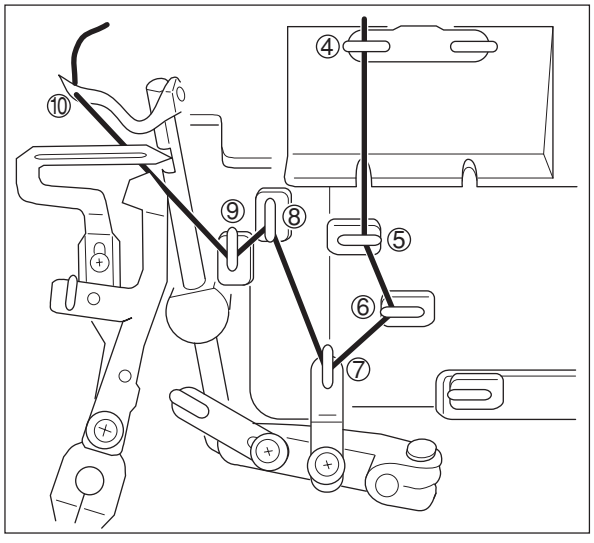
2. 糸を下におろしてきて、糸かけに後ろのスキマからかけ、そのまま糸調子皿の下を通して、手前に引いてきます。



3. 溝の中にある糸調子皿の間に、糸が確実に入るように、糸を上下で引っ張ってください。

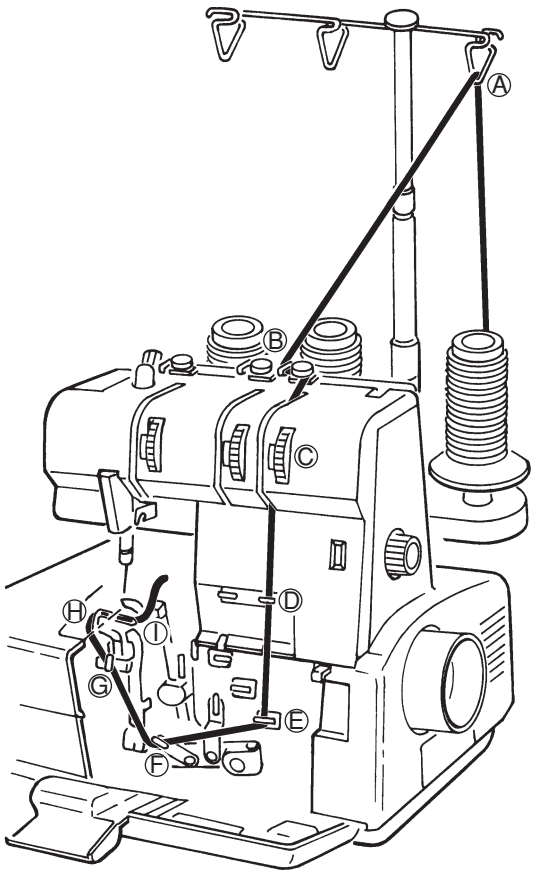
4～9の糸かけに、順番に糸をかけていきます。

10. 付属のピンセットを使って、上ルーパー穴に前から後ろへ通します。糸はルーパー穴から5cmくらい引き出しておきます。



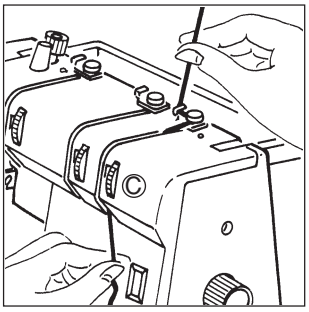
下ルーパー糸のかけ方

フロントカバーとフリーアームカバーを開けます。下ルーパー糸を下図A～Iの順番でかけていきます。
下ルーパー糸の各糸かけ部には、青色のマークがついています。

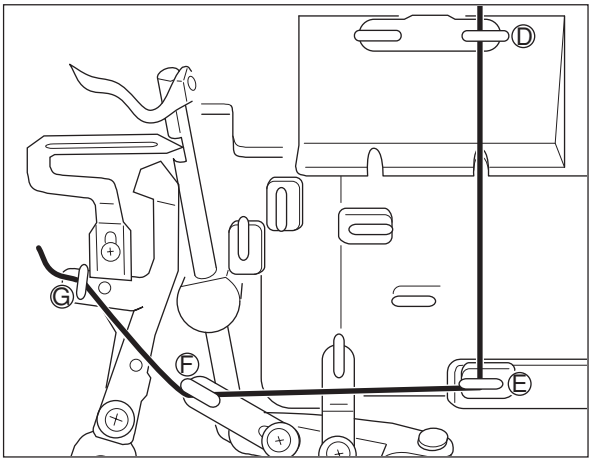


A．糸かけに後ろから前に糸をかけます。

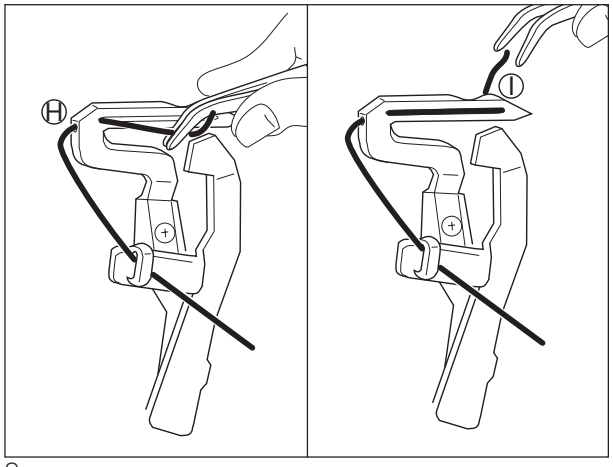
B．糸を下におろしてきて、糸かけに後ろのスキマからかけ、そのまま糸調子皿の下を通して、手前に引いてきます。



C．溝の中にある糸調子皿の間に、糸が確実に入るように、糸を上下で引っ張ってください。



D～Gの糸かけに、順番に糸をかけていきます。



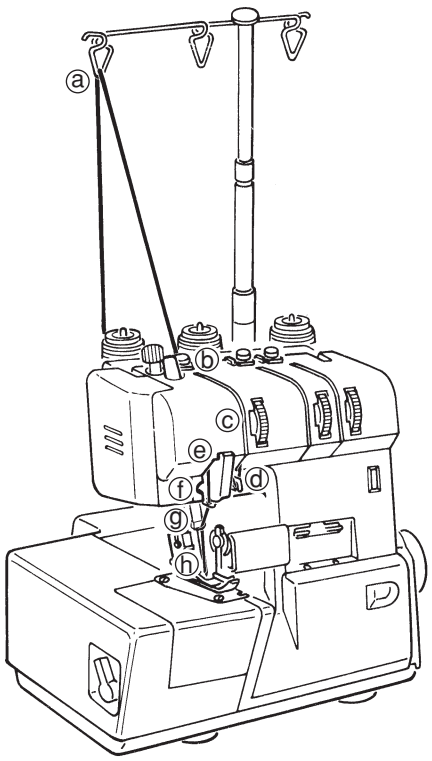
H．下ルーパーが最も左に来るように、ハズミ車を手前に回します。
付属のピンセットを使って、左側の穴に糸を通します。

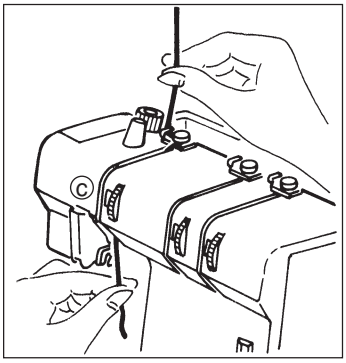
I．ハズミ車を手前に回して、下ルーパーを最も右側によこします。
ピンセットを使って、下ルーパー先端の穴に前から後ろへ通します。
糸はルーパー穴から5cmくらい引き出しておきます。

針糸のかけ方

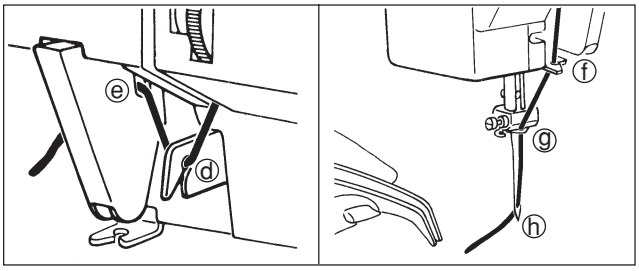
針糸を下図ａ～ｈの順番でかけていきます。
針糸の各糸かけ部には、黄色のマークがついています。

ａ．糸かけに後ろから前に糸をかけます。
ｂ．糸を下におろしてきて、糸かけに後ろのスキマからかけ、そのまま糸調子皿の下を通して、手前に引いてきます。





ｃ．溝の中にある糸調子皿の間に、糸が確実に入るように、糸を上下で引っ張ってください。

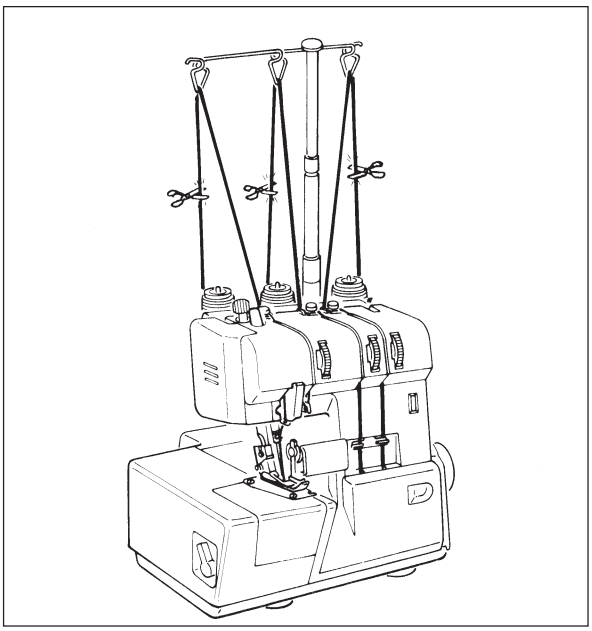


ｄ．糸を右から左にかけ、上に引き上げます。
ｅ．天秤カバーの上のスキマから糸をすべり込ませ、奥の糸かけにかけます。
ｆ．右のスキマからかけます。
ｇ．針棒糸かけに糸を通します。
ｈ．ピンセットを使って、針穴に前から後ろへ通します。糸は針穴から5cmくらい引き出しておきます。

簡単な糸の取りかえ方

糸を取りかえたいときは、次のようにすると簡単にできます。

1. 糸を糸巻きの近くで切り、取りかえたい糸とつなぎかえます。このとき、つなぎ目はできるだけ小さくなるようにしてください。
2. それぞれの糸調子ダイヤルを１に戻します（各ダイヤルの数字をメモしておいてください）。
3. コントローラーを踏み、上下ルーパー糸のつなぎ目が、各ルーパー穴を通り過ぎるまで空ぬいをします。
4. 針糸のつなぎ目が、針穴の手前まで来たらミシンを止め、つなぎ目を切り取って糸を針穴に通します。ダイヤルを元の数字にもどします。

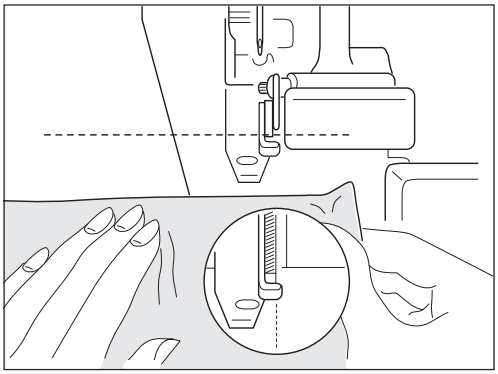


ためしぬい

糸かけが正しくできたら、次にためしぬいをします。
ためしぬいの布と糸は、実際にぬう布や糸と同じものを使ってください。
ためしぬいで、きれいなぬい目になるまで、糸調子や、ぬい目長さ等の調節をしてください。

ぬい始め

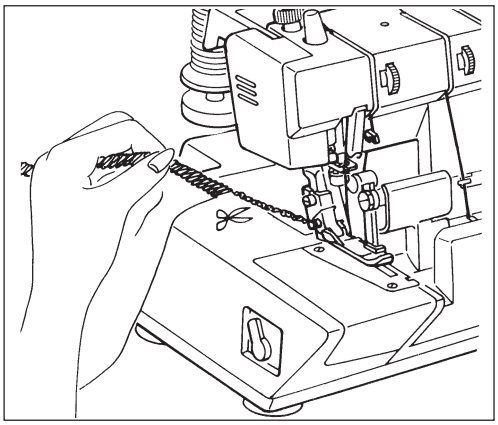
1. 針糸、上下ルーパー糸を押えの下に入れ、糸の端を軽く後ろに引きながら、ハズミ車を2〜3回手前に回して、糸のからみ具合を確認します。
2. ためしぬいの布を押えの下に、手前から差し込むようにして入れます。（押えは下ろしたままでも、布は送られます。もし、厚物などで布が送られないときには、押えを上げ、布を入れてから押えを下ろしてください。）
   コントローラーを浅く踏んで、ゆっくりぬい始めます。
3. ぬい始めたら、徐々にぬい速度を上げます。



注意：ケガ防止のために；
布は自動的に送られますので、無理に引っ張ったり、押したりしないでください。針が折れ、ケガをする恐れがあります。

ぬい終わり

1. 布の端までぬい終わっても、ミシンは止めずに、ぬい速度を落としながら布を後方に引き、5〜6cm空ぬいをします。
2. 空ぬいの糸を2〜3cmミシンに残して糸を切ります。
   （次にぬうときは、そのままぬい始めます。）

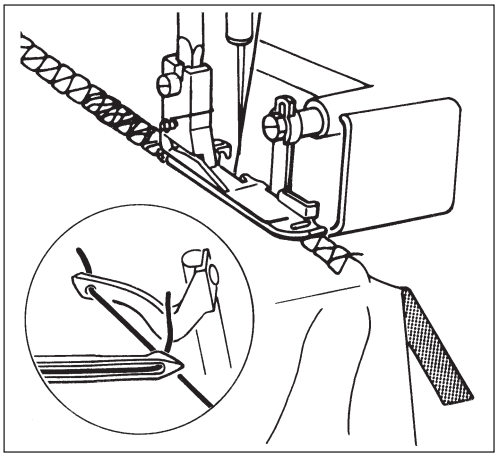


ぬいの途中で糸が切れたら

もし、ぬっている途中で糸が切れたら、布を一度ミシンからはずし、次のように糸をかけ直します。

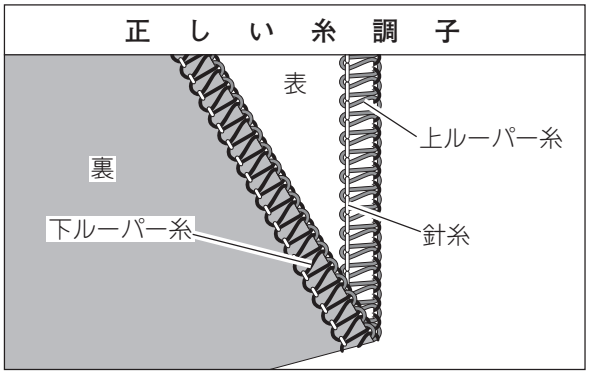
- 上ルーパー糸が切れたとき：ハズミ車を手前に回して、上ルーパー糸をいちばん下にある状態にしてから、ルーパー穴に糸を通します。
- 下ルーパー糸が切れたとき：針糸を針穴の近くで切ってから、下ルーパー糸を通します。そのあと、針糸を針穴から引き出します。
- 針糸が切れたとき：前ページの説明に従って、かけ直します。

糸をかけ直したら、布は糸が切れたところから4〜5cm前のところを押えの下に入れて、前のぬい目と重ねてぬいます。



オーバーロックぬい

このミシンのもっとも基本的なぬいで、布地を切りながら縁をかがっていきます。
薄地から厚地の布まで、あらゆる布地の縁かがりに適しています。

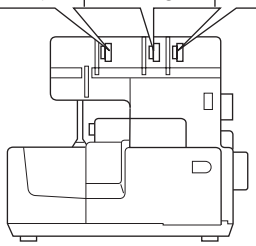


糸調子のとり方

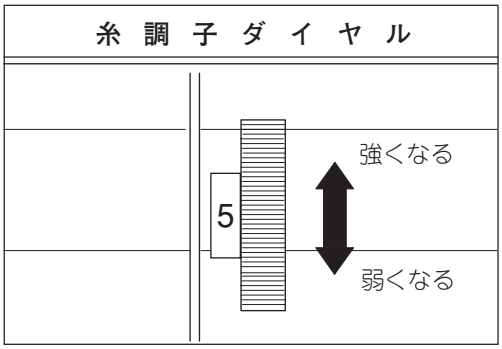
おぬいになる布地の種類や厚さ、糸の太さによって、糸調子は変わってきます。
ためしぬいをしながら、正しい糸調子になるよう調整してください。
下の表を目安にして各糸調子ダイヤルを調整してください。

● 各ダイヤル左側の糸溝の中にある糸調子皿の間に、糸を確実に入れてください。

布地の厚さ	針　糸	上ルーパー糸	下ルーパー糸
薄　地	1.5 - 3.5	2.5 - 4.5	2.5 - 4.5
普通地	2 - 4	3 - 5	2.5 - 4.5
厚　地	2 - 4	2 - 5	2 - 4

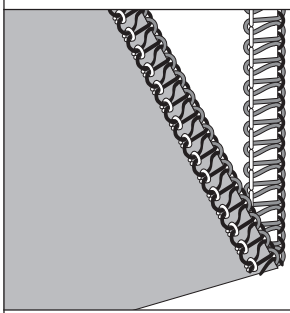
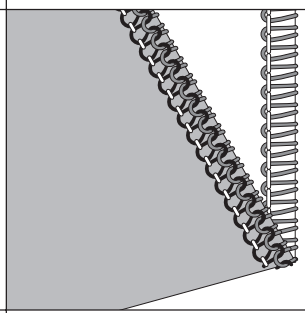
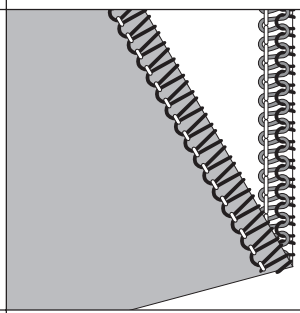


ご注意：
この表は、ロック用ポリエステルスパン糸＃80 - 90を使ったときの目安です。



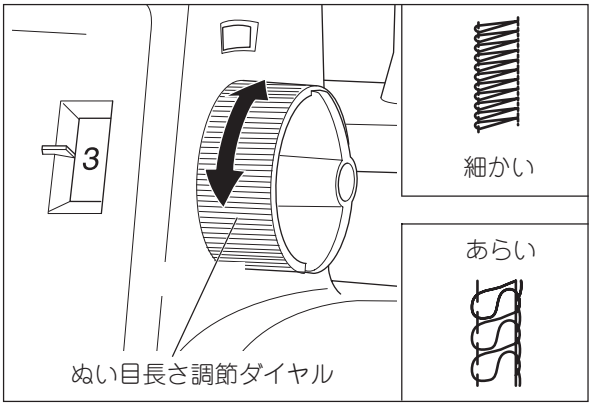
糸調子を強くするには、ダイヤルを大きい数字に合わせます。
糸調子を弱くするには、ダイヤルを小さい数字に合わせます。

ぬい目が下図のようなときには糸調子の調整が必要です。

針糸が弱いとき	上ルーパー糸が裏側へ巻き込まれるとき	下ルーパー糸が表側へ巻き込まれるとき
		
針糸調子を強くする。（ダイヤルを大きい数字に合わせる）。または、上下ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。	上ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。または、 下ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。	下ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。または、 上ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。

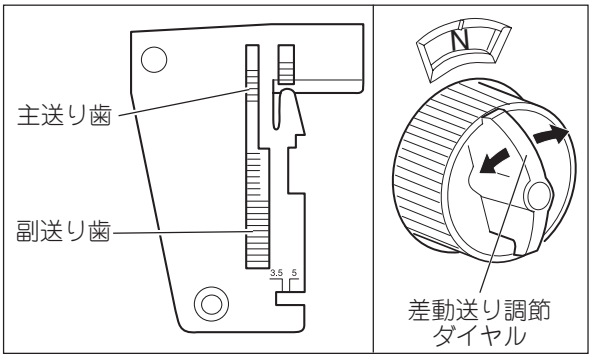
ぬい目長さの調節

ぬい目長さは、1〜4mmの範囲内で調節することができます。ぬい目長さ調節ダイヤルを回して調節します。
数字を小さくすると、ぬい目は細かく、大きくすると、ぬい目はあらくなります。
薄い布地は細かく、厚い布地はあらくしてぬいますと、しわにならず、きれいに仕上がります。
通常は、3にしてぬいます。



差動送り

差動送りとは、主送り歯と副送り歯の送り量を違わせることによって、布地を伸ばしたり縮めたりしながらぬうことをいいます。
主送り歯の送り量はぬい目長さ調節ダイヤルで変えます。
差動送り調節ダイヤルを調節することによって副送り歯の送り量を主送り歯の送り量と違わせることができます。



●普通のぬいの場合：

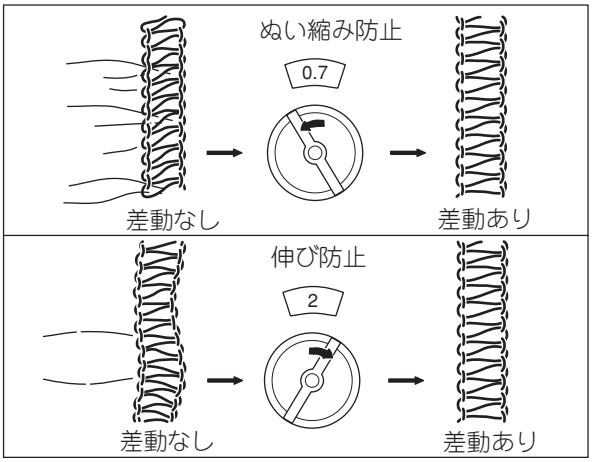
差動送り調節ダイヤルはNに合わせます。主送り歯と副送り歯は同じように動きます。

●薄地のぬい縮み防止には：

差動送り調節ダイヤルを0.7に合わせます。副送り歯の送りは主送り歯の送りよりも小さくなります。

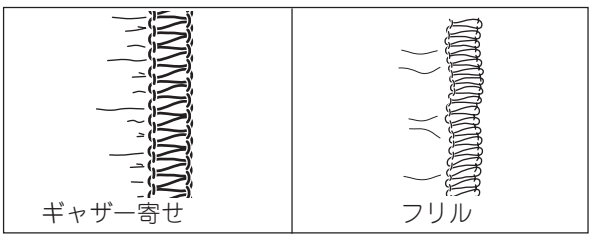
●伸縮性の布地の伸び防止には：

差動送り調節ダイヤルを2に合わせます。副送り歯の送りは主送り歯の送りよりも大きくなります。



●差動送りは飾りぬいにもご使用いただけます。

・ギャザー寄せなどの縮みぬい：
差動送り調節ダイヤルを2に合わせます。
・フリルなどの伸ばしぬい：
差動送り調節ダイヤルを0.7に合わせます。



かがり幅の調節

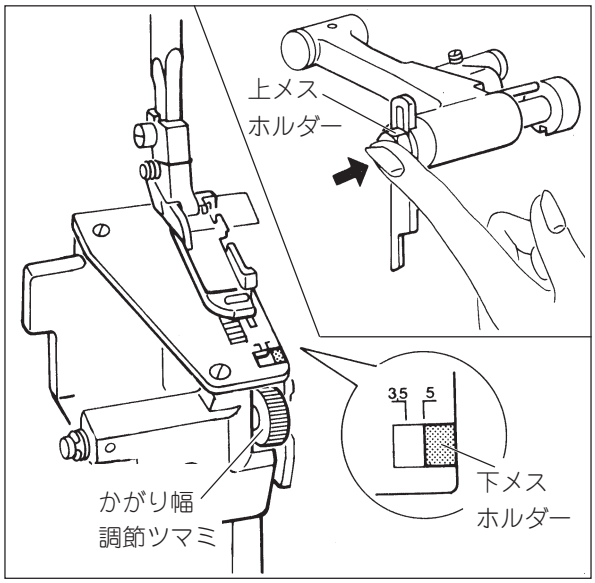
かがり幅は、3.5mm～5.0mmの範囲内で調節することができます。
ほとんどの布地は、通常、3.5mmで間に合いますが、厚物などで特にかがり幅を広くしてぬいたいときには、次のようにしてかがり幅を広くします。

注意：ケガ防止のために；
必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。

かがり幅は、針板にある刻印を目安に、下メスホルダーの左端を合わせて調節します。

1. 電源プラグを抜きます。
2. フロントカバーと、フリーアームカバーを開けます。
3. 上メスホルダーを、右に押しつけながら、かがり幅調節ツマミを下に回します。かがり幅をせまくしたいときは、ダイヤルを上に回します。（このとき、上メスホルダーを押しつける必要はありません。）

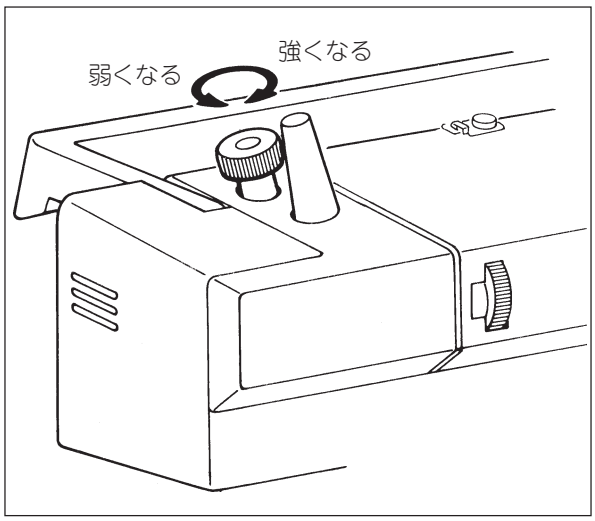
ご注意：
厚地以外の布で、かがり幅を広くしすぎますと、布端が巻かれたりすることがあります。
このようなときには、かがり幅をせまくしておぬいください。



押え圧力の調節

このミシンは、すでに一般の布地に適した押え圧力に合わせてありますので、特に調節する必要はありませんが、極厚地や極薄地の布をぬうときに、調節したほうが良いときがあります。

厚い布地には強くします。
（押え圧力調節ネジを時計方向に回す。）
薄い布地には弱くします。
（ネジを反時計方向に回す。）

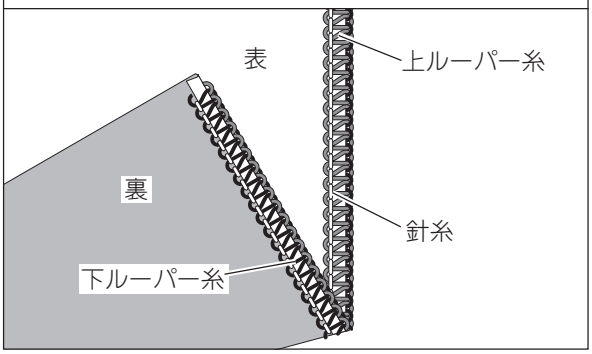


巻きロックぬい

布地を切りながら、布端を裏側に小さく巻き込んでかがるぬい方です。
かがり幅は、1.5mmの細幅で、薄地から普通地の布端の始末に向いています。

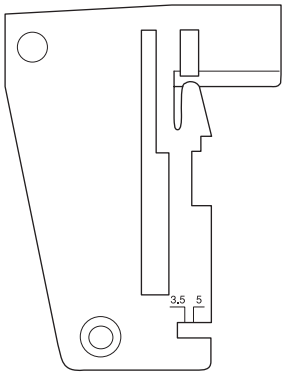
巻きロックぬいには、標準的な巻きロックぬいの他に、変形巻きロックぬいがあります。
変形巻きロックぬいは、布端をやわらかく仕上げたいときや、標準巻きロックぬいでは布端がきれいに巻き込まれないときなどに使います。（変形巻きロックぬいは、16ページに説明してあります。）

正しい糸調子（標準巻きロックぬい）

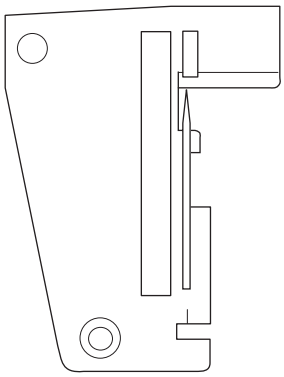


針板の取りかえ方

巻きロックぬいをするときには、針板をオーバーロック用針板から、付属の巻きロック用針板に取りかえます。

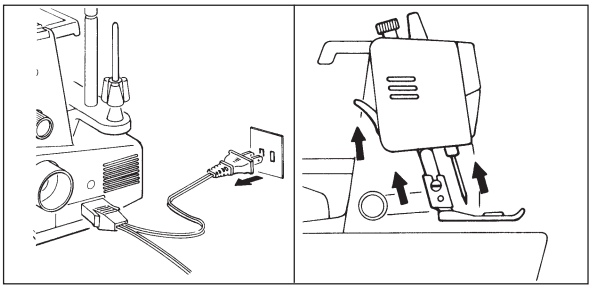


オーバーロック用針板

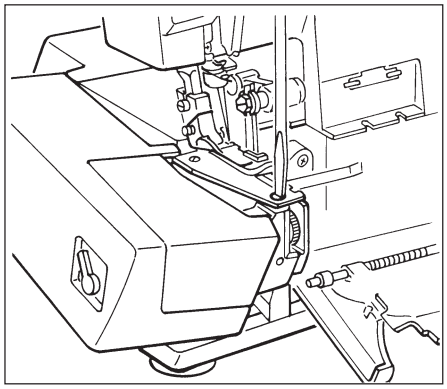


巻きロック用針板

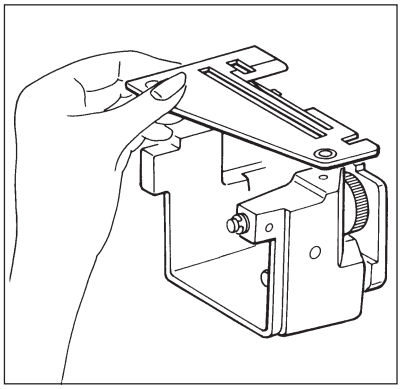
注意：ケガ防止のために；
必ず電源プラグを抜いてから行って下さい。



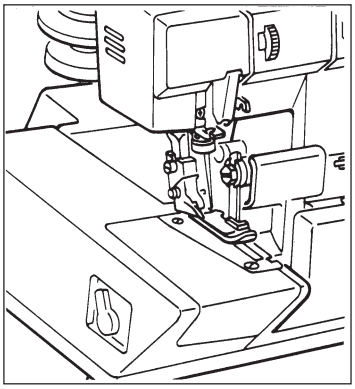
1. 電源プラグを抜きます。
2. ハズミ車を手前に回し、針をいちばん上まで上げます。
3. 押え上げを上げます。



4. フロントカバーとフリーアームカバーを開けます。
5. 針板の手前のネジをドライバーを使ってはずします。



6. 針板を取りかえます。このとき、糸が針板の下にはさまれないように注意してください。

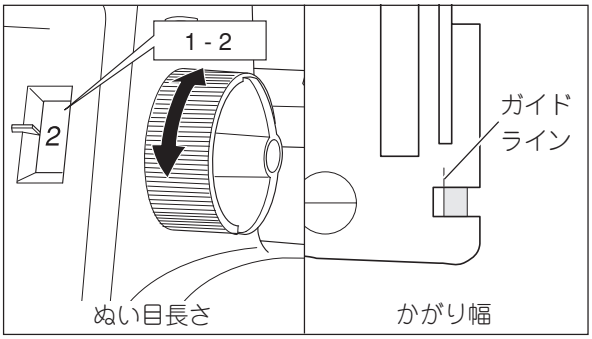


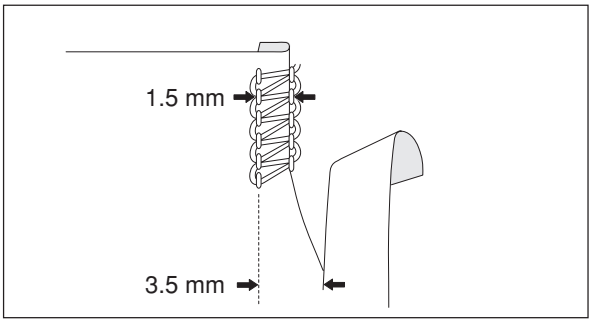
7. ネジをドライバーでしっかりしめます。
8. フロントカバーとフリーアームカバーを閉めます。

標準巻きロックぬい

標準巻きロックぬいをするときは、次のように調節します。

1. 布地と糸と針
   布は薄地〜普通地に向いています。
   布地を巻き込みながらぬいますので、厚地の布には向いていません。
2. ぬい目長さ
   ぬい目長さは、1〜2mmの間でぬいますと、きれいに仕上がります。
3. かがり幅
   巻きロックぬいのかがり幅は、1.5mmです。
   巻きロック用針板についているガイドラインに、下メスホルダーの左端が合うように、かがり幅調節ツマミで調節してください。





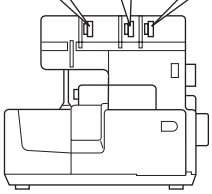
ぬい方

ぬい始めは、空ぬいの糸端を、軽く後ろに引くようにします。
ぬっているときは、布地をぬい方向に、軽く引くようにします。
布のかがり幅は、1.5mmとなっていますが、布が裏側に回り込んでいますので、実際には、3.5mmの幅をかがっています。

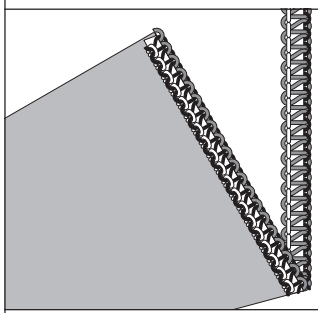
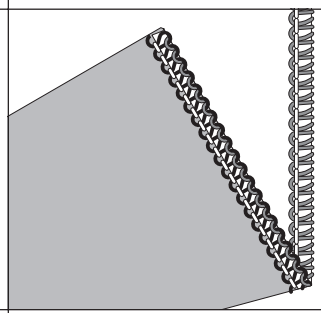
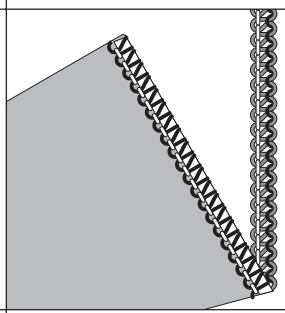
糸調子のとり方

右の表を目安に、各糸調子ダイヤルを調整してください。
ぬい目が、下の図のようなときには、糸調子の調整が必要です。

布地の厚さ	針　糸	上ルーパー糸	下ルーパー糸
薄　地	1.5 - 3.5	2.5 - 5	2 - 4



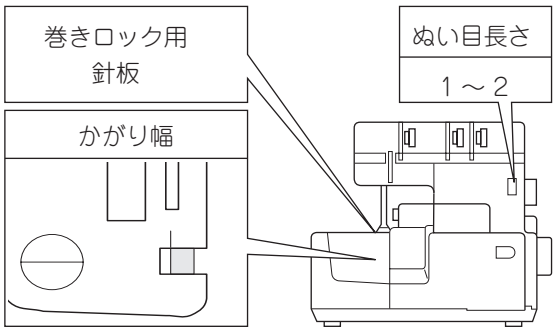
ご注意：
この表は、ロック用ポリエステルスパン糸#80 - 90を使ったときの目安です。

針糸が弱いとき	上ルーパー糸が裏側へ巻き込まれるとき	下ルーパー糸が表側へ巻き込まれるとき
		
針糸調子を強くする。（ダイヤルを大きい数字に合わせる）。または、上下ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。	上ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。または、 下ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。	下ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。または、 上ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。

変形巻きロックぬい

上ルーパー糸が、布の裏側に完全に巻き込まれた巻きロックぬいで、やわらかい仕上げがえられます。

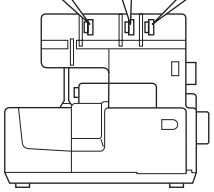
1. 針板を巻きロック用針板に取りかえます。
2. 変形巻きロックぬいのぬい方や、調節のし方は、糸調子のとり方以外、標準巻きロックぬいと同じです。



糸調子のとり方

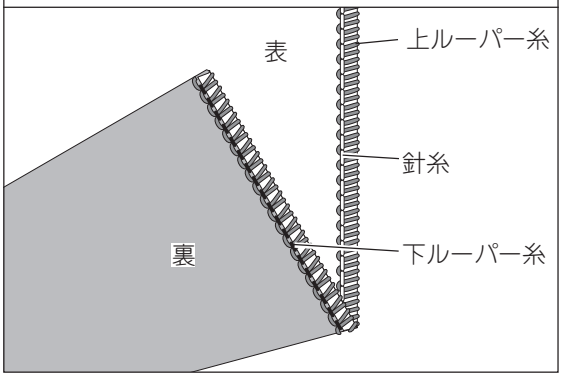
変形巻きロックぬいの糸調子は、下の表を目安にして合わせます。

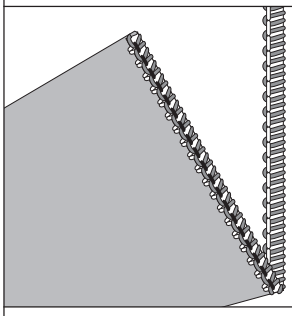
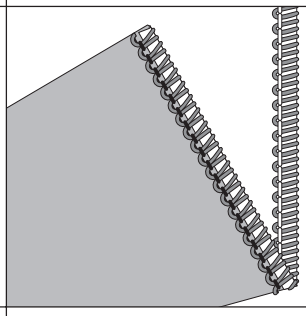
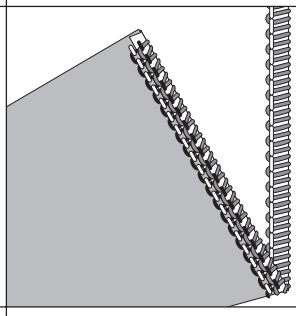
布地の厚さ	針　糸	上ルーパー糸	下ルーパー糸
薄地～普通地	1.5 - 3.5	2.5 - 5	4 - 6



ご注意：
この表は、ロック用ポリエステルスパン糸#80 - 90を使ったときの目安です。

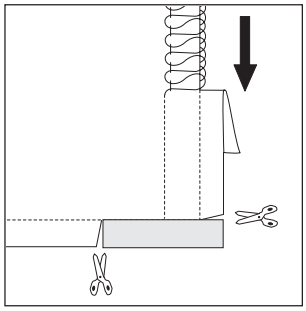
正しい糸調子（変形巻きロックぬい）



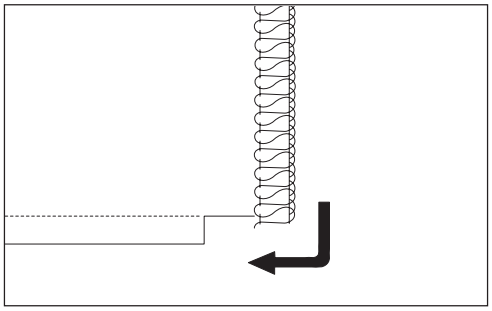
針糸が弱いとき	上ルーパー糸が弱いとき	下ルーパー糸が弱いとき
		
針糸調子を強くする。（ダイヤルを大きい数字に合わせる）。または、上下ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。	上ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。	下ルーパー糸調子を強くする（大きい数字）。または、 上ルーパー糸調子を弱くする（小さい数字）。

ぬい方向をかえるには

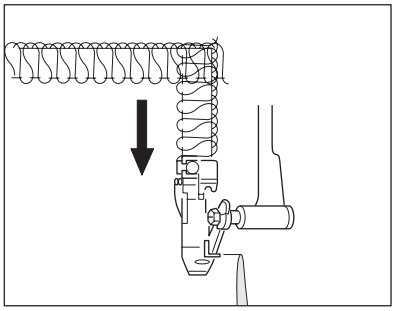
外角ぬい



1. 上の図のように、角をあらかじめ仕上がりの線で切ります。

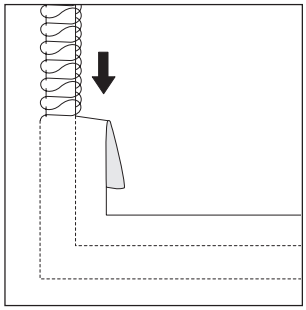


2. 角までぬい進め、角から2〜3針ぬい進んだところで止めます。
3. 針と押えを上げます。
4. 布地を軽く後ろに引き、針板の爪にからんでいる糸をはずします。

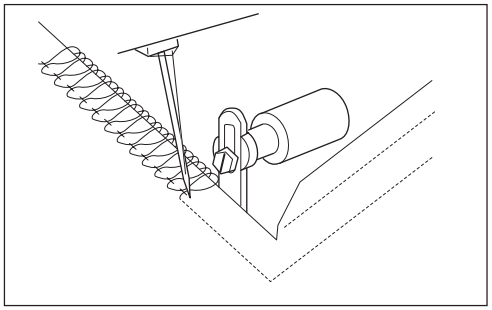


5. 布の方向を変え、押えの下に入れます。
6. 押えを下げて、ぬい続けます。

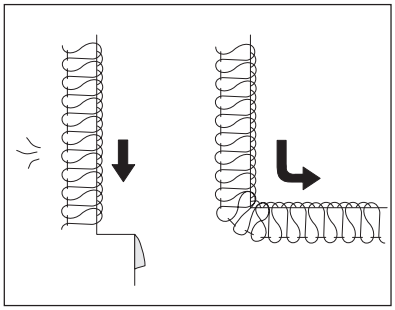
内角ぬい



1. メスが、切り上がりの角に来るまでぬい進めます。



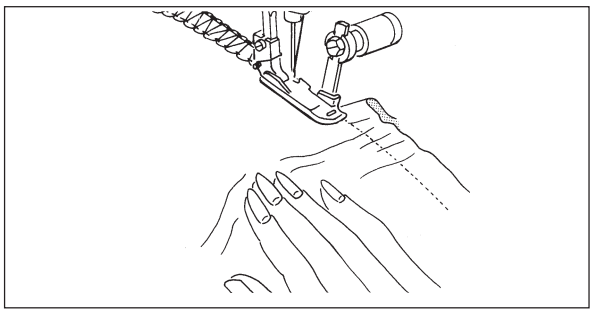
2. 切り上がりの角から、少し切り込みを入れます。



3. メスの手前の布をまっすぐになるよう、開きます。
4. ぬい進めます。

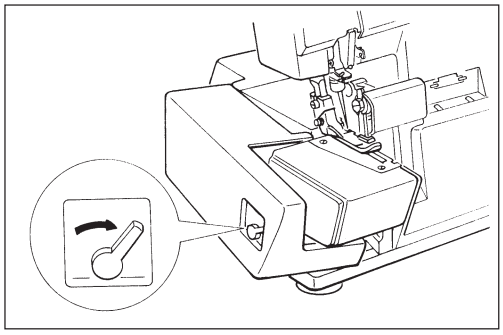
カーブぬい

カーブをぬうときは、布地を押し出すようにして、布地のぬい上がり線がまっすぐになるようにして、ぬいます。

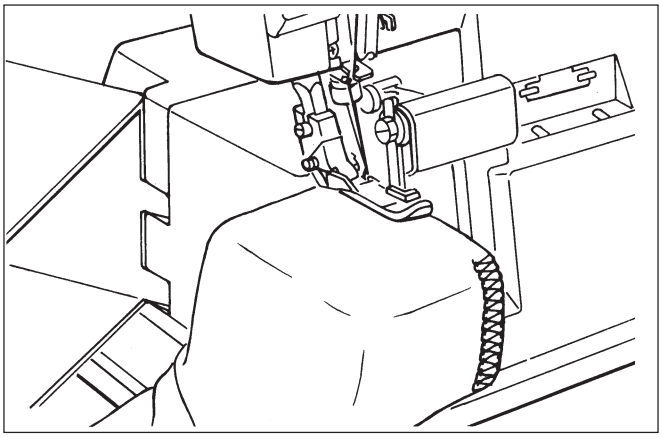


フリーアームソーイング

補助テーブルを開けるだけで、フリーアームミシンとなり、筒ぬいがたいへんしやすくなります。
袖口や、肩口の縁かがりが、簡単にできます。



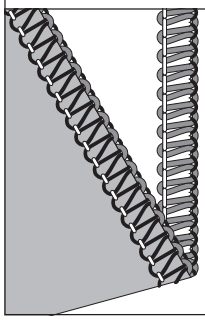
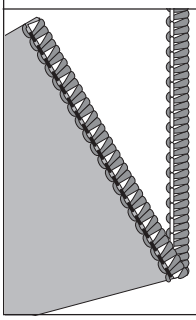
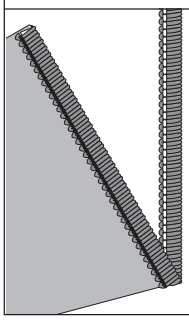
補助テーブル左側のレバーを手前に倒して、
テーブルを左に開けます。



装飾ぬい

上ルーパー糸を太い糸や毛糸などにかえてぬうと装飾的なオーバーロックぬいになります。
ぬい方や糸調子を変えていろいろなオーバーロックぬいをお楽しみください。

例：

1 本 針 3 本 糸 ぬ い	変 形 巻 き ロ ッ ク ぬ い	変 形 巻 き ロ ッ ク ぬ い
 上ルーパー糸：太い糸、毛糸	 上ルーパー糸：ウーリーナイロン、レーヨン、金糸等	 上ルーパー糸：他の糸と色をかえる。

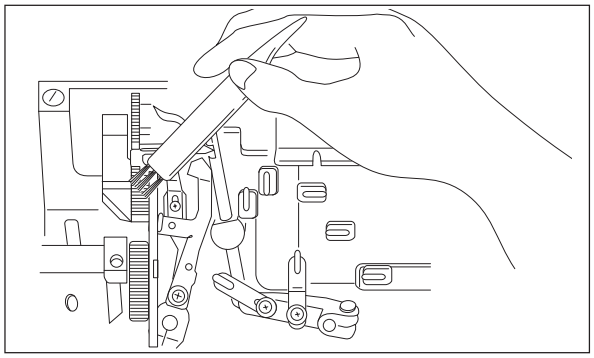
ミシンのお手入れ

警告：感電、ケガ防止のために；
お手入れの際は、必ず、電源プラグをコンセントから抜いてください。

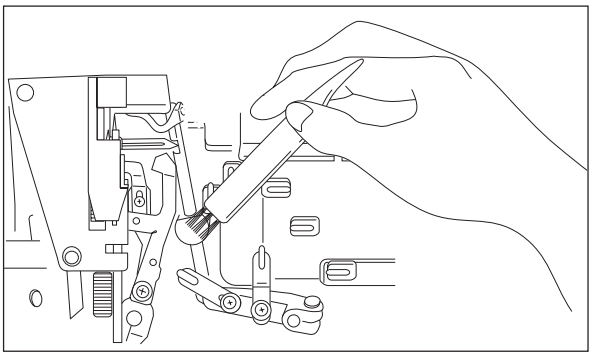
掃除

ミシンを長時間ご使用になられますと、布や糸の切りクズが、送り歯の周りや、フロントカバーの内部にたまってきます。ときどき、付属のブラシで取り除いてください。

送り歯の周り

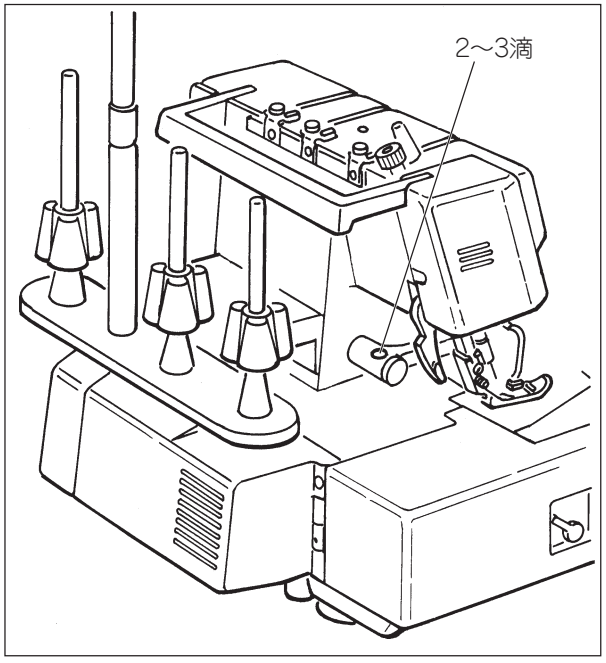


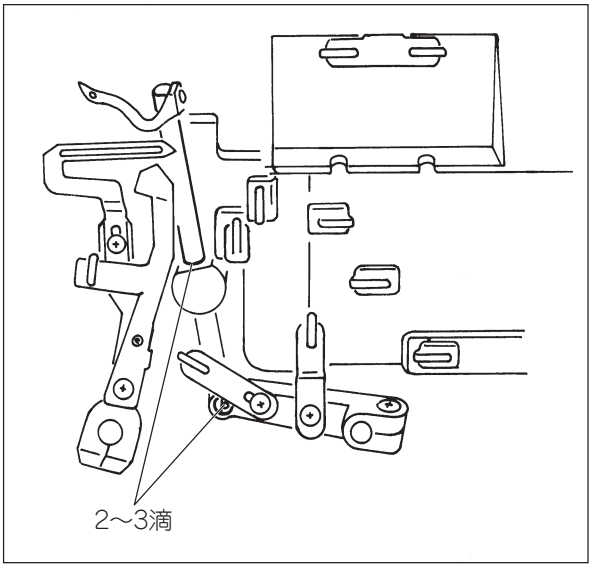
フロントカバーの内部



注油

このミシンは、大切な部分に特殊な材料を使っておりますので、あまり注油する必要はありませんが、下の図に示したところに定期的に注油していただきますと、いつまでもスムーズに動かすことができます。





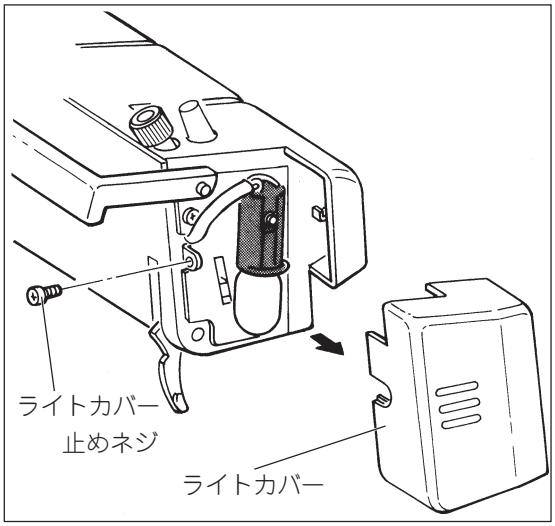
ランプの取りかえ方

ランプが切れたときは、次のようにして取りかえてください。

> **注意：ケガ防止のために**
> 長時間使用していると、ランプが熱くなり、ヤケドをする恐れがあります。電源プラグを抜いて、十分冷えてから交換してください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. ライトカバー止めネジをゆるめ、カバーを左に引いてはずします。
3. ランプを左に回すと、はずれます。
4. 取り付けるときは、ランプを右にねじ込みます。
5. ライトカバーを取り付けて、ネジをしめ直します。

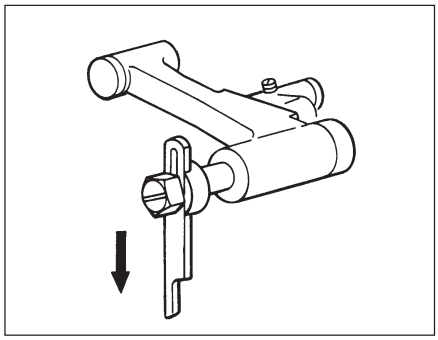
＊ ランプは、ミシンをお買い上げの販売店でお求めください。（100V12W）



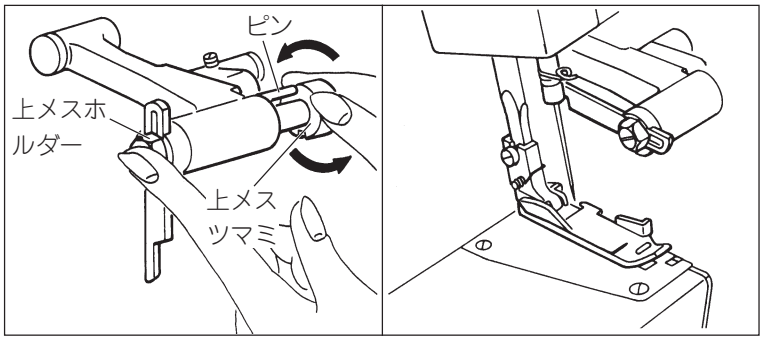
下メスの取りかえ方

下メスは消耗品ですので、切れ味がにぶくなったら、取りかえてください。

1. 電源プラグをコンセントから抜きます。
2. フロントカバーを開けます。
3. 上メスを裁断停止位置にします（下図参照）。



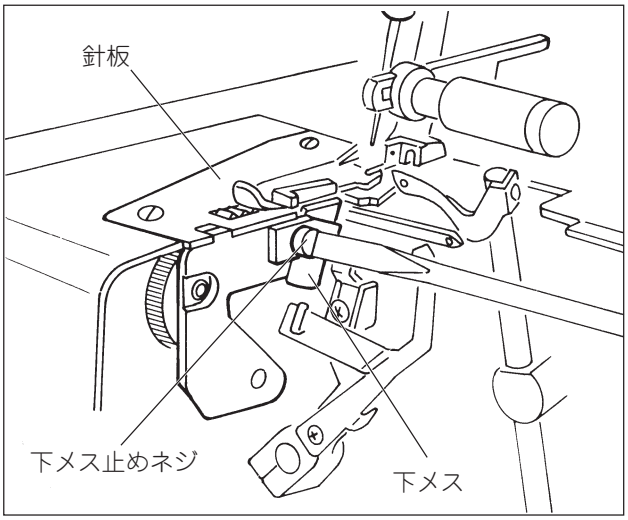
a. ハズミ車を回して上メスをいちばん下の位置にします。



b. 上メスホルダーを右に押しつけながら、上メスツマミを上に回し、ピンがツマミの溝に入るまで、ツマミを回します。

1. 下メス止めネジをゆるめて、下メスを取りはずします。
2. 新しい下メスを、下メスホルダーの溝に入れます。
3. 下メスの刃先が、針板の上面と同じ高さになるように合わせて、ネジをしっかりしめます。
4. 上メスホルダーを右へ押し付けながら、上メスツマミを手前に回して、ピンをもとの溝に入れます。

上メスは、特殊な固い材料を使っていますので、取りかえる必要はありませんが、刃が欠けた場合など、特に取りかえる必要があるときは、お買上げの販売店にご相談ください。



サービスをお申しつけになる前に

ミシンの調子が悪いときは、サービスをお申しつけになる前に、まず、次のことをお確かめください。

状態	原因	処置	ページ
糸が切れる。	・針の取りつけ方が間違っている。 ・糸調子が強すぎる。 ・針がまがっているか、先がつぶれている。 ・糸のかけ方が間違っている。 ・糸が余計なところにかかっている。	正しくつけ直します。 正しい強さに調整します。 正しい針と取りかえます。 正しくかけ直します。 正しくかけ直します。	5 11, 15, 16 5 6-9 6-9
ぬい目がとぶ。	・針がまがっているか、先がつぶれている。 ・針の取りつけ方が間違っている。 ・押え圧力が弱すぎる。 ・針の種類やサイズが間違っている。 ・糸のかけ方が間違っている。 ・糸調子が強すぎる。	正しい針と取りかえます。 正しくつけ直します。 圧力を強くします。 正しい針と取りかえます。 正しくかけ直します。 正しい強さに調整します。	5 5 13 5 6-9 11, 15, 16
針が折れる。	・布地を無理に引っ張っている。 ・針や糸が布地に合っていない。 ・針の取りつけ方が間違っている。	手は布にそえるだけにします。 適正な糸と針を選びます。 正しくつけ直します。	10 5 5
布を送らない。	・押え圧力が弱すぎる。	圧力を強くします。	13
布にしわがよる。	・下メスの切れ味がにぶい。 ・ぬい目長さが布地と合っていない。 ・糸調子が強すぎる。 ・かがり幅が布地と合っていない。 ・差動送りが合っていない。	下メスを取りかえます。 ぬい目長さを調節します。 正しい強さに調整します。 かがり幅を調節します。 差動送り量を調整します。	20 12 11, 15, 16 13 12
ぬい目に輪ができる。	・糸調子が合っていない。	糸調子を調整します。	11, 15, 16
ミシンの回転が重い。	・布や糸クズがたまっている。	ブラシで取り除きます。	19
ミシンが動かない。	・プラグの差し込みが不十分である。	正しくしっかり差し込みます。	4

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

1. このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。内容をお確かめの上、大切に保存してください。
2. 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

●無料修理保証期間後の修理サービス

1. 使用の手びきに基づいて正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスをいたします。
   ただし、次に該当する場合は、有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
   - イ. 保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
   - ロ. 浸水、冠水、火災等、天災、地変により不調、故障または損傷したとき。
   - ハ. ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
   - ニ. ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解または改造したために不調、故障または損傷したとき。
   - ホ. 職業用として無理なご使用により不調、故障または損傷したとき。
2. 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によっても元どおりに修復できないことがあります。
3. 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。
4. このミシンは持ち込み修理品ですので、修理の際はご購入店までお持ち込みくださるよう、お願いいたします。

お問い合わせまたはご相談先（純正部品の購入方法）

シンガーミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の「お客様相談係」でも承っておりますので、ご遠慮なくお申し越しください。

＊ 住所および電話番号は、都合により変更することがありますので、ご了承ください。
＊ シンガー純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、下記の「お客様相談係」におたずねください。

155年以上も家庭用ミシンを作り続けてきたシンガーは、迅速で正しいサービスをモットーとして全世界のご家庭にお届けいたしております。

SINGER®
シンガーミシン

株式会社 シンガーハッピージャパン
「お客様相談係」

〒110-0016　東京都台東区台東2丁目9番5号
TEL. 03-3837-1862　FAX. 03-3837-0072

® はTHE SINGER COMPANYの登録商標です。
62173-a B8 S-300DF